

緑化だより

No.32 平成20年10月号



マルバノキ(別名：ベニマンサク) 平成18年10月24日撮影

- きのこのない食卓なんて
- 樹のあれこれ
- 研修会・イベント報告

- 研修会・イベント紹介
- 花だより
- お知らせ・案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



きのこのない食卓なんて

『第7話 制ガン作用について(4)』

古くから“匂いマツタケ味シメジ”と言われています。シメジは、**ホンシメジ**のことで、最も美味しいきのこは**ホンシメジ**とされてきました。このホンシメジに似て味もひけをとらないのが**ハタケシメジ**です。しかも最近では血圧やコレステロールを下げる効果があるとか、ガンの予防によいのではないかとことも言われています。β-グルカンが多く含まれており、その抗腫瘍効果については日本癌学会等で発表されています。

ハタケシメジは畑、草地、庭などに発生し、最近では隠れファンもけっこうおられるようです。緑化センターでは以前あちらこちらに発生している姿を見かけていたのですが、最近ではシーズンでもなかなかお目にかかれなくなりました。



ハタケシメジ

樹のあれこれ

『クスノキ』クスノキ科クスノキ属



クスノキの葉と花

クスノキの葉は主脈とその両側の側脈が目立つ三行脈で芳香があるのが特徴です。

西日本各地に大きな樹木が見られ、環境庁が昭和63年に全国で巨木の調査を行い、ベスト10の内、9本がクスノキでした。中でも日本一の巨木は鹿児島県の「蒲生のクス」で幹周24.22mでした。

また、宮島の大鳥居もクスノキで宮崎県と香川県から取り寄せたものです。以前、大鳥居用のクスノキを島内で育てようと植栽を行ったのですが、鹿の被害を受け、再度植え直されたようです。

クスノキは、古くから利用され佐賀県の吉野ヶ里遺跡からは、クスノキで作った臼が出土し、飛鳥時代の仏像は、ほとんどがクスノキで出来ており法隆寺、夢殿の観音菩薩は有名です。

また、広島市の木は、昭和48年の市民の投票によりクスノキと決まりました。被爆木にも多くのクスノキが残っています。

園内では、多目的広場・林間広場・学校公園工場見本園などにあります。



クスノキの花

研修会・イベント報告

9月14日(日) 『接ぎ木や挿し木を学ぼう』

美しい花が咲いていたり、気に入った木を見かけると、欲しくなるのは当然のことだと思います。こんな時に挿し木、接ぎ木ができると手軽にその木を増やすことができます。樹木医の溝口先生が、苗木生産の経験に基づいた接ぎ木のコツや挿し木のポイント等について実技講習



研修会実施状況

してくださいました。挿し木については、経験したことがあるのではということで時期等の説明にとどまり、接ぎ木について実技講習を行いました。

講習の内容は、ヤマモミジの台木にノムラモミジをコブシの台木にヒメコブシ(シデコブシ)を接ぎ木しました。モミジは一芽腹接ぎ、コブシは芽接ぎを行いました。良く切れる接ぎ木用の切り出しナイフを使い切口が綺麗に揃い、専用のビニールテープで結び形成層を合わせることが大切です。だいたい1週間くらいで活着したか否かは分かるらしく、葉柄が落ちたり、芽の色の変化などで判るそうです。当分の間、まだかまだかと、毎日にらめっことなることでしょう。

研修会・イベント紹介

○10月2日(木) 『薬草と健康を学ぼう』 10:00～12:00 学習室集合

講師: 広島大学薬学部准教授 神田 博史 先生

身近にある植物の効能を考えてみませんか。おもしろ話も多数あります。

○10月8日(水) 『野生きのこ教室』 10:00～12:00 学習室集合 要予約

講師: 料理研究家 金本 久子 先生

野生きのこを用い、料理を作り試食会を行います。季節の山菜を満喫してみませんか。

○10月10日(金) 『10月の自然探勝』 10:00～12:00 第3駐車場集合

講師: 植物研究家 中塚 道則 先生

第3駐車場から埋立広場～中央展望台～ファミリー広場とバラエティーに富んだ植生の散策路を歩きます。イノキやケンポナシなどを中心に観察する予定です。

○10月19日(日) 『秋のきのこ教室』 10:00～14:00 第3駐車場集合

講師: きのこアドバイザー 川上 嘉章 先生 きのこ採集用のカゴ持参
園内できのこ狩りを行った後、学習室に持ち寄り鑑定会を行います。

○10月22日(水) 『木の実ウォッチング』 10:00～12:00 管理事務所前集合

講師: 植物研究家 清藤 徹 先生

木の実を中心に園内の植物観察を行います。実りの秋を堪能しませんか。

○10月25日(土) 『もみあげと庭木の手入れ』 10:00～12:00 学習室集合

講師: 樹木医 工藤 徹 先生

松を中心に庭木の手入れについての学習会です。様々な質問も受け付けます。

花だより

マルバノキ マンサク科マルバノキ属

広島では、別名「ベニマンサク」の方がよく知られた名前だと思います。廿日市市(旧大野町)にある、『おおの自然観察の森』や『渡瀬ダム湖周辺』の自生地は、県の天然記念物に指定されています。全国でも長野・愛知・岐阜・福井・高知等の各県で自生が確認されて、生育地が離れていることもあり、珍しい植物の一つと言えます。

紅葉がとても綺麗で、おおの自然観察の森のベニマンサクの紅葉は見事なものです。紅葉して葉が落ちる頃に暗紅色の花が背中合わせに付きます。果実は翌年の秋に熟し、中から光沢のある黒い種子がでてきます。

繁殖は、実生か挿し木で行い、湿り気のある所を好みます。耐陰性があり半日陰地でも生育します。

和名:マルバノキは葉が丸いことにより、別名:ベニマンサクは、花色が紅色を帯びていることによります。学習展示館の横や薬草園で見ることができます。

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 展示会のお知らせ 展示場所:レストハウス

○私の好きな緑化センター

10月5日(日)迄 開催

○きのこ写真と本物のきのこ展

10月8日(水)~11月3日(月)迄 開催

○緑化センターの野鳥の巣展

11月5日(水)迄 開催

◎ 10,11月は毎日開園します

10,11月の休園日はありません。紅葉や木の実などのんびりと秋を満喫して頂けたらと思います。

◎ 11月1日(土)~11月16日(日)は『もみじ祭り』を開催します

期間中、様々な催しやプレゼント等を企画しております。紅葉と共にお楽しみ下さい。

◎ 平成20年度緑化写真コンクールについて

応募締め切りは、11月24日(月)迄です。皆様のご応募お待ちしております。入賞者の作品は、平成21年度緑化センターオリジナルカレンダーに掲載する予定です。



花



果実



紅葉した葉